

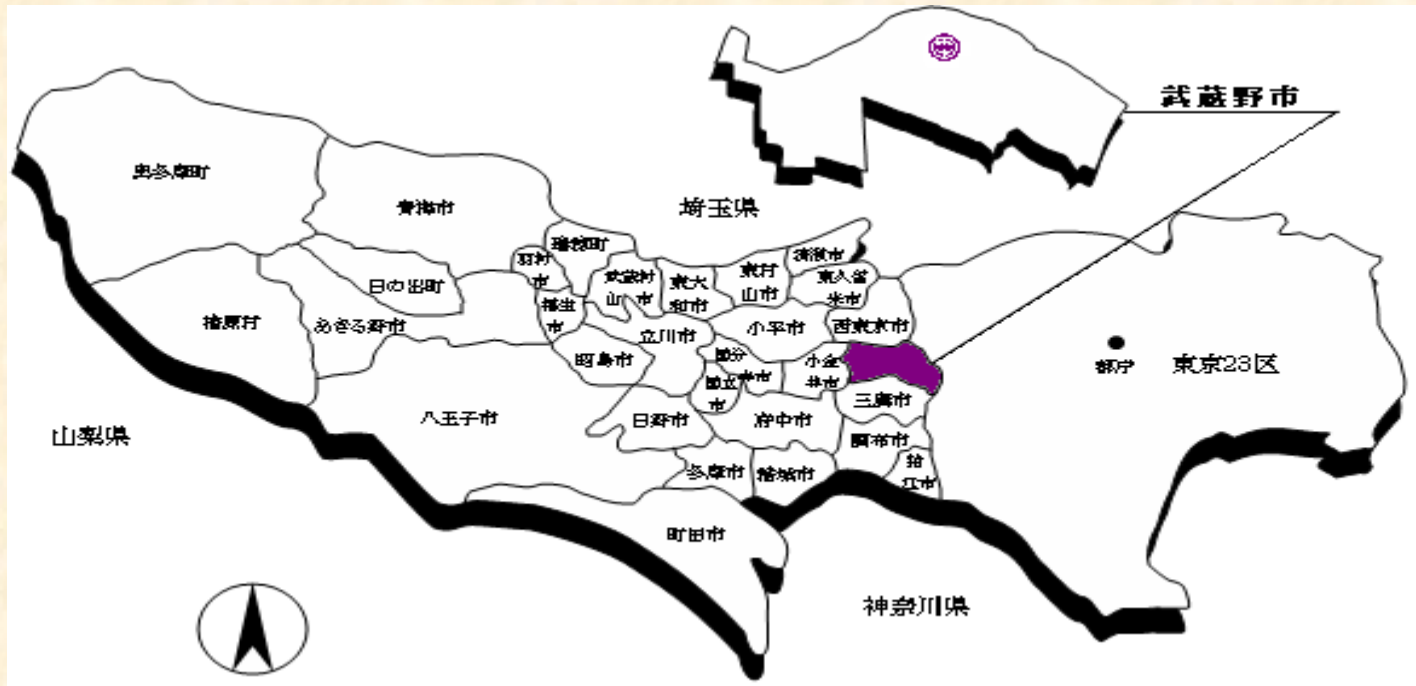


長期宿泊体験活動 ～セカンドスクール～

武蔵野市教育委員会

武蔵野市の概要

- 面積 10.98km²
- 人口 148,260 人
(令和4年10月1日現在)
- 市立学校数
小学校12校、中学校6校
- JR中央線 3駅
…吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅



平成元年当時の子供たちの現状と課題

－武蔵野市学校経営検討委員会－

- ・自然と直接触れ合う機会の減少
- ・直接体験の減少（間接体験や疑似体験の増加）
- ・無感動、無関心な子供たち
- ・夢や希望をもてない子供たち
- ・集団の一員としての意識の不足

平成元年当時の子供たちの現状と課題

－武蔵野市学校経営検討委員会－

- ・自然と直接触れ合う機会の減少
- ・直接体験の減少（間接体験や疑似体験の増加）
- ・無感動、無関心な子供たち
- ・夢や希望をもてない子供たち
- ・集団の一員としての意識の不足



子供たちの生きる力を育む活動の場

長期宿泊体験活動＝セカンドスクール

平成元年当時の子供たちの現状と課題

－武蔵野市学校経営検討委員会－

- ・自然と直接触れ合う機会の減少
- ・直接体験の減少(間接体験や疑似体験の増加)
- ・無感動、無関心な子供たち
- ・夢や希望をもてない子供たち
- ・集団の一員としての意識の不足



子供たちの生きる力を育む活動の場

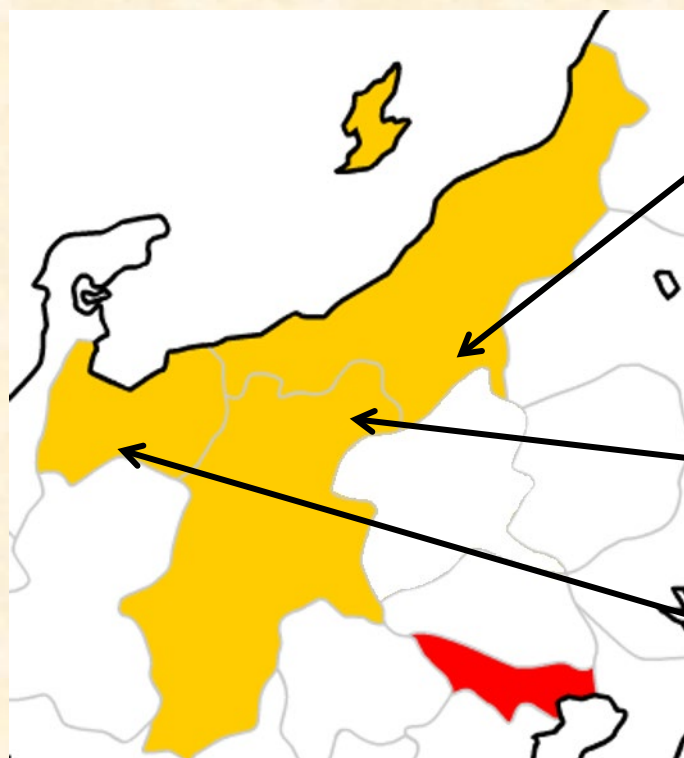
長期宿泊体験活動＝セカンドスクール



学校生活＝ファーストスクール

令和4年度 小学校セカンドスクール日程表

対象学年	5年生
実施時期	6月、9月、10月
宿泊期間	5泊6日、6泊7日
実施地	関東甲信越地方
宿舎	民宿



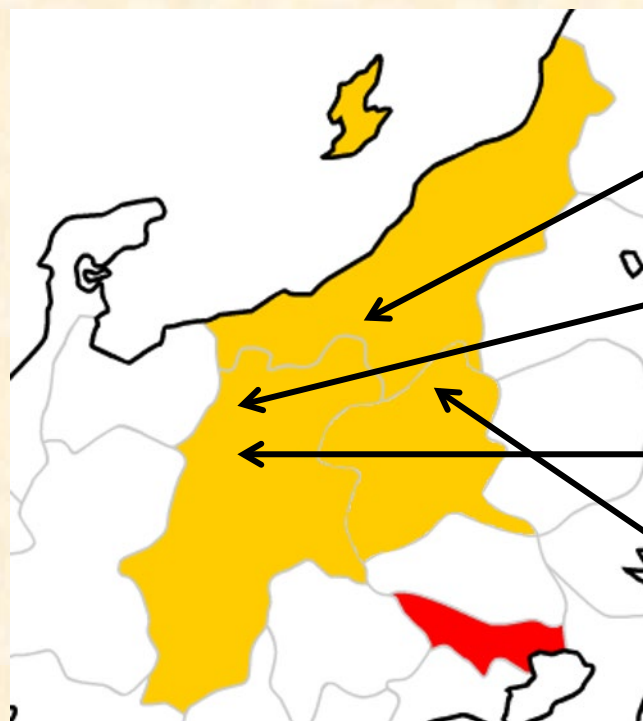
新潟県魚沼市・南魚沼市(5校)

長野県飯山市(6校)

富山県南砺市利賀村(1校)

令和4年度 中学校セカンドスクール日程表

対象学年	1年生
実施時期	5月、9月
宿泊期間	4泊5日
実施地	関東甲信越地方
宿舎	民宿、キャンプ、ホテル



新潟県十日町市(1校)

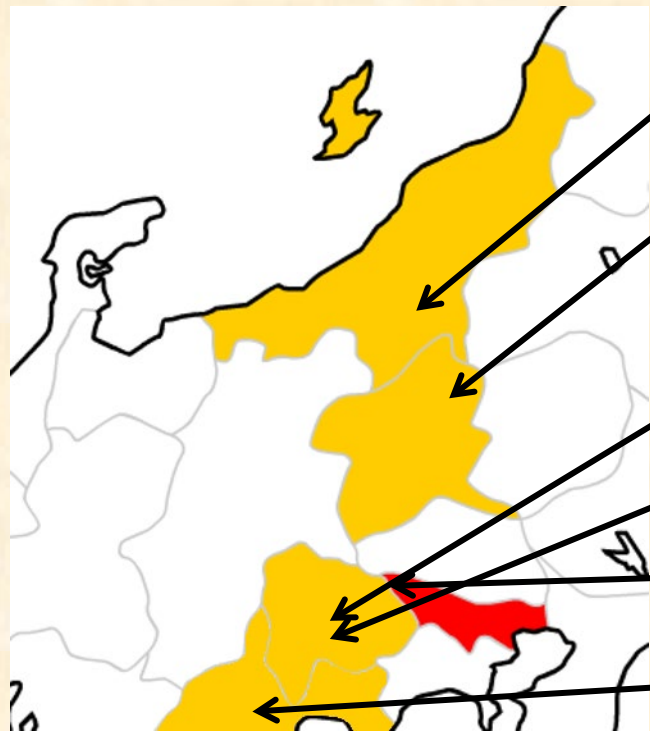
長野県北安曇野郡白馬村(3校)

長野県安曇野市(1校)

群馬県みなかみ町(1校)

令和4年度 小学校プレセカンドスクール日程表

対象学年	4年生
実施時期	6月、9月、10月
宿泊期間	2泊3日
実施地	関東甲信越地方
宿舎	民宿、ホテル



新潟県南魚沼市(1校)

群馬県利根郡片品村(1校)

山梨県南都留郡
富士河口湖町(3校)

山梨県南都留郡山中湖村(5校)

東京都西多摩郡奥多摩町(1校)

静岡県島田市(1校)

セカンドスクール27年の歩み

- 平成元年度** 学校経営検討委員会「生き生きとした子どもの育成を目指し、地域と一体となって進める学校づくり」の報告でセカンドスクールを提言
- 平成 4年度** 「夏季山村生活体験学習」として長野県八坂村にて6泊7日で試行
- 平成 5年度** セカンドスクール構想による「山村生活体験教室」として、岩手県遠野市にて夏休み中に12泊13日で試行
- 平成 7年度** **全小学校** 5年生対象に本格実施
- 平成 8年度** **全中学校** 1年生対象に本格実施
- 平成15年度** 小学校4校で4年生を対象にプレセカンドスクールを試行
- 平成17年度** **全小学校**で4年生を対象としたプレセカンドスクールを開始
- 平成27年度** 小・中学校全校実施から20年目を迎える
グッドデザイン賞受賞
- 令和元年度～令和2年度** 武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会による検討



GOOD DESIGN AWARD 2015年度受賞



セカンドスクール27年の歩み

- 平成元年度** 学校経営検討委員会「生き生きとした子どもの育成を目指し、地域と一体となって進める学校づくり」の報告でセカンドスクールを提言
- 平成 4年度** 「夏季山村生活体験学習」として長野県八坂村にて6泊7日で試行
- 平成 5年度** セカンドスクール構想による「山村生活体験教室」として、岩手県遠野市にて夏休み中に12泊13日で試行
- 平成 7年度** **全小学校** 5年生対象に本格実施
- 平成 8年度** **全中学校** 1年生対象に本格実施
- 平成15年度** 小学校4校で4年生を対象にプレセカンドスクールを試行
- 平成17年度** **全小学校**で4年生を対象としたプレセカンドスクールを開始
- 平成27年度** 小・中学校全校実施から20年目を迎える
グッドデザイン賞受賞
- 令和元年度～令和2年度** 武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会による検討

今後の武蔵野市長期宿泊体験活動の内容の体系

学習形態

中学一年生
小学五年生
小学四年生

課題解決

課題解決

課題解決

自然体験活動

◆子ども自身が挑戦したい自然体験活動

- (例)
- SDGsに関する調査や自然体験活動
 - 現地の自然に関するボランティア活動
 - 災害時に活用できる知識・技能を学ぶキャンプ泊
 - ハイキングや登山のコース選択や設定、挑戦

◆自然と人との調和の大切さを体感する活動

- (例)
- 現地の自然を感じるハイキングや登山
 - 星空観察
 - 天気や川原の観察
 - 現地の環境問題の調査
 - 農業体験、林業体験（社会科との関連）

◆武蔵野市と異なる自然の豊かさに触れる体験

- (例)
- 現地の自然（山、川、湖、滝、鍾乳洞、森林等）を感じるハイキングやトレッキング
 - 月や星の観察
 - 宿周辺の動植物の観察

よりよい人間関係の形成を育む活動

◆他者との協働による課題解決の機会を設定

- (例)
- グループ毎による追究型の課題解決体験
 - ・現地の現代的な課題や解決方法の調査
 - ・現地と武蔵野市との比較、ポスターセッション
 - 現地の中学生との交流

◆他者とのよりよい人間関係を築く場の設定

- (例)
- 分宿による仲間づくりや協調して生活することの大切さの実感
 - 感謝を伝える活動の計画、役割分担、準備、実施
 - 現地の小学生との交流

◆集団生活の基礎を身に付ける場の設定

- (例)
- 集団生活のきまりや公衆道徳の理解
 - 集団生活の基礎を身に付ける体験
 - 今日の活動の振り返りや、明日のめあての話し合い活動

当該学年にふさわしい特色ある活動

◆持続可能な視点から産業等を学ぶ社会体験

- (例)
- 現地の農林水産業、伝統、観光に関する調査
 - ブレザー体験、特産品の加工、製造、販売等
 - 現地のガイドブック作り
 - ・フィールドワークを通して調査、取材、編集等

◆各教科等の学習に関連する活動

◆民宿への長期にわたる分宿体験活動

- (例)
- 民宿の方との語り（歴史、くらし）
 - 郷土食の調理、会食
 - 感謝を伝える活動（感謝の会、周辺の清掃等）
 - 年間を通して宿泊地と関わる活動

◆所属校や武蔵野市とは異なる場での出会い

- (例)
- 現地の人々の生活や産業と武蔵野市との関わりを調べる活動
 - 現地の方々と関わる活動

教員の働きかけ

児童・生徒一人一人の活動やグループ活動の見守り、その変容や状況に応じた賞賛、促し、励まし等、支援や指導に努める。

評価

☆児童・生徒一人一人の学びの過程を、目指す資質・能力に照らし合わせ、成長した点を評価する。

☆事前事後のアンケート調査の実施、分析・評価をし、日々の教育活動や次年度のプログラムに生かす。

目指す主な資質・能力

自然を愛する心、 課題解決能力、 情報活用能力、 人間関係形成、 社会参画、 自己実現

【表の見方について】 この表は、長期宿泊体験活動検討委員会で協議されたこと、学習指導要領に示されていることなどを基に作成した各学年における長期宿泊体験活動中における体験活動の例示です。各学校で、体験活動の実施プログラムなどを組む場合の一つの参考例として示しました。なお、現地のガイドブック作り、郷土食の調理、宿の方との語り等々、そのねらいや、内容・方法等がその学年段階に応じたものであれば、小学校でも中学校でも計画化できます。学校の実態や現地の特色を踏まえて、学年の枠は弾力的に考えてください。

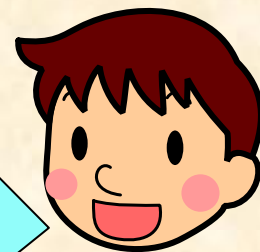
自然体験活動

～ブナの森へ～



～水生生物観察～

川の中に昆虫がいることを初めて知りました。指導員さんにコツを教えてもらって見つけることができ、とても嬉しかったです。



～富士山五合目ハイキング～



～自然散策～



自然の美しさに感動し、
自然の偉大さや、
大切さに改めて
気付くことができました。



自然体験活動

～夜の天体観測～



よりよい人間関係の形成を育む活動

～はし作り～



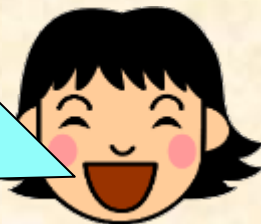
～笹寿司作り～



～わらぞうり作り～



たくさんの時間をかけた
わらぞうり作り中に、
いろいろなことを宿の
お父さんやお母さんと
話します。また、最後まで
あきらめずにやる力が
ついたと思います。



よりよい人間関係の形成を育む活動



当該学年にふさわしい特色ある活動

～機織り～



～そば打ち～



～林業体験～



当該学年にふさわしい特色ある活動



稲刈りでは、宿のお父さんが刈りやすい方法を教えてくれたのでたくさん刈ることができました。

～田植え・稲刈り～



子供たちの感想(1)

セカンドスクールを通して、私には山から
「自然を大切にしなさい」と言われているように感じました。

今回の体験で命の大切さとはかなさを学ぶことができました。
これからは「いただきます。ごちそうさま」を
心から感謝を込めて言わなければいけないと感じました。

自分で見て確かめるということの大切さを実感できたので、
これからも自ら行動し多くの「本物」との出会いを大切にしていこう。

子供たちの感想(2)

班での役割に責任をもち、活動することができ、
自分自身の成長につながった。

友達と7日間、一緒に活動をしたり、生活をしたりする中で
新たな信頼関係を築くことができ、絆を深めることができた。

セカンドスクールで、初対面の人と仲良くなれるようになりました。
宿のお父さんお母さんともすぐ仲良くなれました。
お別れのときはとても悲しくて、また会いたいと強く感じました。

事前の学習



事後の学習



長期宿泊体験活動実施の課題

- 持続可能な実施地の確保
 - 宿の方の高齢化
 - 児童・生徒数の増加に伴い、分宿ができる宿数の確保、実施地の選定
- 生活指導員の確保
 - 各宿2名、児童数の多い学校だと24名
 - 6日間引率できる人材の確保が必要

長期宿泊体験活動の可能性

～セカンドスクールの成果をファーストスクールへ～

- 自立心を育て「**主体的な学び手**」に
- 直接体験を経て「**自ら考える学び手**」に
- 自律と協同「**共に探究する学び手**」に

